

## 中国と日本の名園

海外では日本庭園が静かなブームになっている。アメリカに住む日本人が日本庭園の良さをアメリカ人から聞かされ、高度な日本文化の歴史と技術に改めて見直したというエピソードがある。多くの日本人はアメリカ人から言われるまでは、日本庭園の価値評価は全くなかったのである。

古都・京都の伝統的庭園に美的感覚。更には滋賀県彦根城にある「玄宮園」をはじめ、全国各地に点在する城の中には究極を極めた日本庭園が見ることが出来る。

一方長い歴史を持つ中国の庭園も素晴らしいものがある。北京の頤和園、承徳の避暑山荘、蘇州の拙政園と留園は、中国の四大名園として世界遺産に登録されている。この内の蘇州の庭園を見学させて頂いたが、財の限りを費やし美の究極を追及している実に素晴らしいものであった。

新潟市内にある天寿園を見学した。ここには中国庭園と日本庭園が併設されており、心和む空間を満喫することが出来た。特に中国庭園では中国人による設計、施工、そして中国からの資材を用いて完成させた本格的中国庭園である。なかでも設計において中国各地の名勝を取り入れ、全体を八つの風景区に分けられている。全ての施設が明るくカラフルな色彩の中にも落ち着きを感じるものであった。一方日本庭園では池と滝を中心に茶室などもあり、四季折々の花々は見る人を歓迎してくれている。こうした日本と中国の庭園は世界に誇れる貴重な共通する文化であり、万代にわたる両国の繁栄と友好を祈らずにはおれなかった。

撮影 2013 年春

